

七色シンフォニー

しがっ きみ うそ
「四月は君の嘘」のOP

いまあざ
今鮮やかなシンフォニー
なないろ
七色シンフォニー

わす きず い
忘れようとするこゝで 傷が癒えないのは
わす おも だ
忘れようとするこゝで 思い出されるから
ぼく めぐ めぐ めぐ めぐ めぐ
僕は 巡り巡り巡り巡り巡ってく
と とけい まえ た
止まった時計の前で 立ちつくすのはやめよう

きみ
いつまでも 君といたいと
つよ つよ おも
強く強く思うほど

いてもたっても いられなくなるよ
ぼく あめ きみ たいよう て つな
僕は雨 君は太陽 手を繋ごう
ぼく
僕らはここにいる

いまあざ
今鮮やかなシンフォニー
なないろ
七色シンフォニー
だ おと
ひとりじゃ出せない音が
き つ
あることに気が付いたよ
な わら
泣いて笑って ドレミファソ
おも ひび あ
想い響き合うシンフォニー

しろ いき ま そら き
白いため息は いつの間にか空に消えて
み あ さくら
見上げれば 桜はピンクのつぼみをつける
ぼく めぐ めぐ めぐ めぐ めぐ
僕は 巡り巡り巡り巡り巡ってく
よろこ せつ せ お はる ま
喜びも切なさも背負って 春を待っている

ふ し ぎ きみ えがお
不思議だよ 君の笑顔は
まぢ
モノクロームの街を
いろあざ そ
色鮮やかに 染めてゆくんだ
いま いっしゅん だ
ねえ 今この一瞬を抱きしめよう
ぼく
僕らはここにいる

そら はな
空に花びらひらり
はるいろ
春色シンフォニー
いま だ おと
今しか出せない音が
あることに気が付いたよ
きみ
君がいるから 笑えるよ
とき わ あ
時を分かち合うシンフォニー

きみ まほうつか
君はいつも 魔法使い
ふつう ひ び
普通の日々のメロディー
そのすべてを 名曲にするんだ
そう まるでチャイコフスキー
ゆうき み おと
勇気に満ちた音をくれるんだ

いまあざ
今鮮やかなシンフォニー
なないろ
七色シンフォニー
ひとりじゃ出せない音が
あることに気が付いたよ
か あ
駆け上がるように ドレミファソ
ぼく かな
僕が奏でてるメロディー
きみ かな
君が奏でてるメロディー
おも ひび あ
想い響き合うシンフォニー

七色シンフォニー

「しがつはきみのうそ」の OP

四月 君 嘘

いまあざやかなシンフォニー

今 鮮

なないろシンフォニー

七色

わすれようとすることで きずが いえないのは

忘 傷 癒

わすれようとすることで おもいだされるから

忘 思 出

ぼくは めぐりめぐりめぐりめぐりめぐってく

僕 巡 巡 巡 巡 巡

とまったとけいのまえで たちつくすのはやめよう

止 時計 前 立

いつまでも きみといたいと

君

つよくつよくおも うほど

強 強 思

いてもたっても いられなくなるよ

ぼくはあめ きみはたいよう てをつなごう

僕 雨 君 太陽 手 繋

ぼくらはここにいる

僕

いまあざやかなシンフォニー

今 鮮

なないろシンフォニー

七色

ひとりじゃだせないおとが

出 音

あることに きがついたよ

気 付

ないてわらって ドレミファソ

泣 笑

おもいひびきあうシンフォニー

想 響 合

しろいためいきは いつのまにかそらにきえて

白 息 間 空 消

みあげれば さくらはピンクのつぼみをつける

見上 桜

ぼくはめぐりめぐりめぐりめぐりめぐってく

僕 巡 巡 巡 巡 巡

よろこびもせつなさもせおって はるをまっている

喜 切 背負 春 待

ふしぎだよ きみのえがおは

不思議 君 笑顔

モノクロームのまちを

街

いろあざやかに そめてゆくんだ

色鮮 染

ねえ いまこのいっしゅんをだきしめよう

今 一瞬 抱

ぼくらはここにいる

僕

そらにはなびらひらり

空 花

はるいろシンフォニー

春色

いましかだせないおとが

今 出 音

あることにきがついたよ

気 付

きみがいるから わらえるよ

君 笑

ときをわかちあうシンフォニー

時 分 合

きみはいつも まほうつかい

君 魔法使

ふつうのひびのメロディー

普通 日々

そのすべてを めいきよくにするんだ

名曲

そう まるでチャイコフスキー

ゆうきにみちたおとをくれるんだ

勇気 満 音

いまあざやかなシンフォニー

今 鮮

なないろシンフォニー

七色

ひとりじゃだせないおとが

出 音

あることにきがついたよ
気 付

かけあがるように ドレミファソ
駆 上

ぼくがかなでてるメロディー
僕 奏

きみがかなでてるメロディー
君 奏

おもいひびきあうシンフォニー
想 響 合